

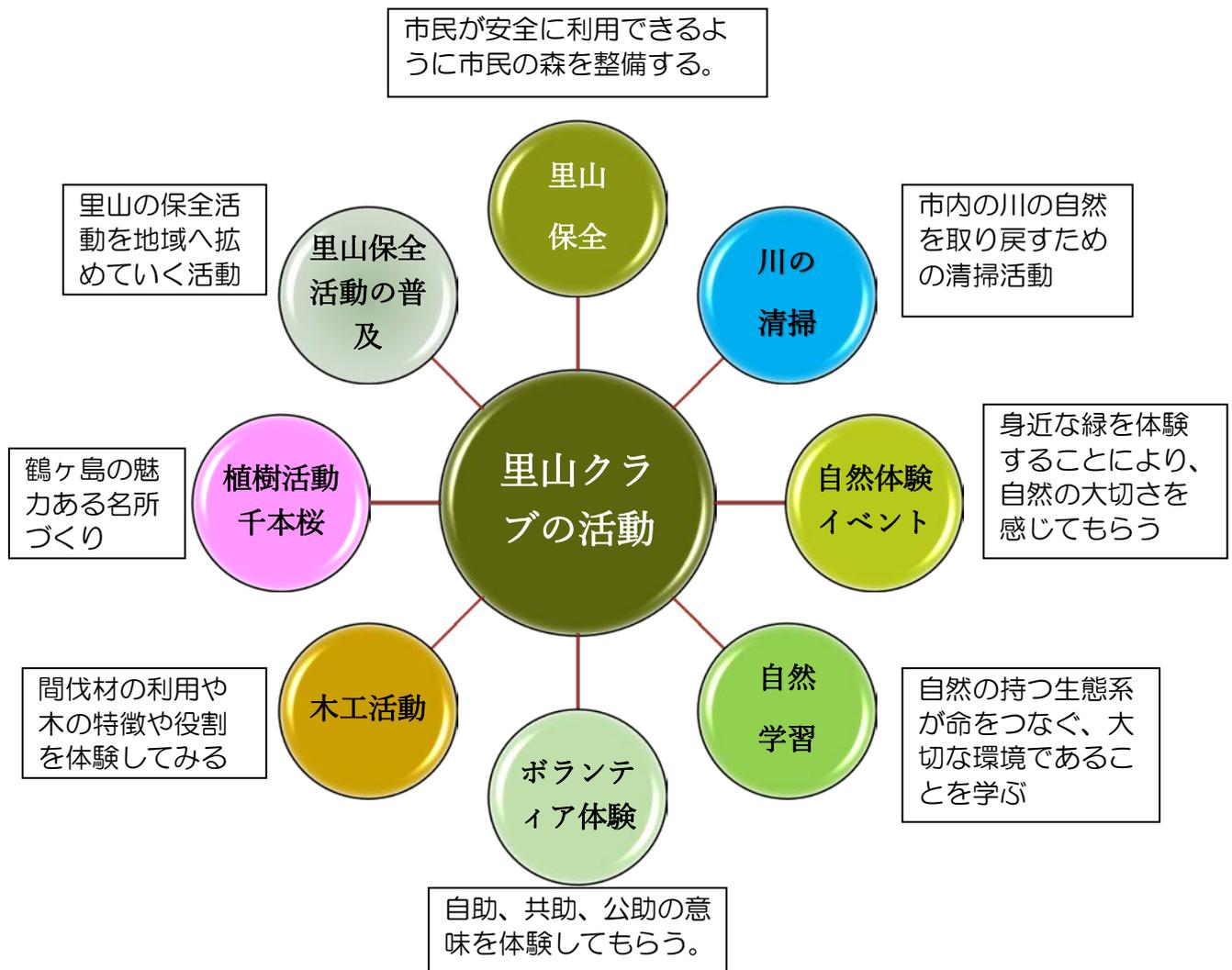
# 第1号議案

## 令和元年度(2019)つるがしま里山サポートクラブ年間活動報告書

令和2年5月17日(日)

私たちのNPO法人つるがしま里山サポートクラブの本年度の活動としては、年間36回開催され、準備の活動も含めると倍程度の活動内容となっています。

その里山を次世代に継承したいという目的で、活動内容を分類してみますと、おおむね8つの活動に分けられます。



鶴ヶ島里山サポートクラブの活動は、年ごとに活動分野をひろげ、多くの事業に取り組んでいます。

これらの活動を拡充していくためには、会員の拡大と市民の皆様の支援が不可欠です。

このため、わたしたちの活動を、よく知ってもらうために情報の発信が不可欠です。

会員の皆様のネットワークを活用して、情報の発信をしていきましょう。

これらの8つの取り組みについて、紹介します。

# 1 市民の森の保全活動としては3カ所の市民の森で合計10回実施した。

## 1 五味ヶ谷市民の森では、4回の整備活動を実施

- 4月21日 4月27日のタケノコ掘りの準備として下草刈り、散策路の整備を実施
- 8月10日 森の保全活動のボランティア体験会を中高生6名の参加を得て実施、中高生に森の保全活動を体験してもらい、活動のPRとなった。高校生3名は、別の活動に参加してくれました。
- 11月9日 森の整備活動を実施しました。
- 12月7日 門松準備と併せて忘年会を森の中で実施
- 2月8日 門松教室の後片付け、かかり木の処理、チェーンソー講習会報告など



4月21日(13名) 8月10日(9名+中2名高4名) 11月9日(9名) 2月8日(13名)

## 2 藤金市民の森

藤金市民の森では、3回の市民の森の整備活動を実施した。

- 6月16日 林内の草刈り、枯れ木の伐採などを実施 10名参加
- 8月31日 藤金市民の森の整備(9月7日のプレパークのため)とボランティア体験(親子中学2年生 筑波大付属高校2年生3名の計5名で市民の森の整備目的と整備体験 7名+5名)
- 3月22日 藤金市民の森(飛び地の竹林)と川沿いの散策路の整備 13名



6月16日(10名) 8月31日(7名+5名) 3月22日(13名)

## 3 高倉市民の森

高倉市民の森では、3回の市民の森の整備活動を実施した。

- 1月4日 新年会、広場のテーブルの修復作業、③飯盛川沿い及び散策道のゴミ拾いと朽ち木処理、④焼き芋とお汁粉で新年を祝う



1月4日 17名

- 7月27日 夏に生育した下草の刈り取り、市民の森と周辺の清掃活動、外来種の駆除、ボランティア体験者へ里山整備の意義・目的を伝える高倉整備を行った。
- 10月12日 夏に生い茂った雑草等の草刈りと 19号台風で生じた倒木の除去作業を実施。



7月27日 9名+6名

10月12日 6名

## 2 川の清掃活動

市内にある2本の川、飯盛川、大谷川の清掃活動を継続している。

### 1 飯盛川清流復活大作戦

- 5月25日飯盛川の清掃活動は、つるがしま里山サポートクラブの活動開始の最初のイベントとして、「飯盛川清流復活大作戦」と称して、春、秋の2回、開催していましたが、大谷川の清掃活動が加わったため、年一回開催をしています。今年は27回目の開催です。ホタルの生育環境保全含め里山の清流を清掃した。また、プレパークの活動準備整備を行った。



5月25日(9名)

## 2 大谷川のクリーン大作戦

- 5月19日 大谷川のクリーン大作戦は、春、夏の市の道路清掃終了後に2回開催しています。今年の14回目は、大谷川に倒れている大木を除去した。川のゴミは、日常的にゴミ清掃に取り組んでいる会員(脇谷さん)のおかげで、ゴミの量は少なくなっています。大谷川に鯉が大量に繁殖しており、ホタルの幼虫やカワニナは生息できないと思われ、蛍の再生を目指す活動としては、大きな問題となっている。
- 10月20日15回目の秋の大谷川の清掃活動は、3会場で実施し、里山クラブは第一会場(旧給食セター)を担当している。19号台風の影響で旧給食センター裏は大谷川の氾濫した湿地帯となって川以外にも湿地帯内に大量のゴミが集積し、ゴミ袋は56袋と大量に収集した。



5月19日(9名)

10月20日(9名+18名)

## 3 自然体験イベント

自然体験イベントは、子供たちが市民の森で、自由に遊んでもらい、子供たちが想像力で工夫して、遊びを作り出すことの出来る遊び場として、自分たちのアイディアとスタイルで楽しみ、発見や創造する喜びを味わえる場として、利用してもらいたいために実施している。

本年度も夢基金の助成が得られ、3つの市民の森でイベントを実施し、地域支えあい協議会、市民活動団体等との協働事業として継続して実施した。

### 1 高倉、藤金、五味ヶ谷市民の森でのプレーパークの実施(3回)

- 6月1日 高倉市民の森は中央を蛍の住む飯盛川が横切っています。この森は未整備部分が残し、放置すると人を拒む自然に変化することが観察できます。樹上からこの違いを観察し、様々な自然環境を持つ高倉市民の森が、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。開催日が小学校の運動会と重なったために、参加者が計画より、少なかった。西部 地域支えあい協議会、 広おやこ劇場ひき北いるま、NPO 法人一二三富の会などの協力を得ることができた。
- 9月7日 藤金市民の森は、藤金の学習活動にも使われ、地域の方々にも愛されている市民の森です。鶴ヶ島市及び周辺地域の方々に里山体験会として、子供たちに思いきり遊んでもらうことで、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。中央支えあい協議会、NPO法人あそび計画、NPO法人一二三富の会の協力を得ることができた。子供120名、大人80名、スタッフ50名で盛大なイベントになった。

- 11月16日 五味ヶ谷市民の森は、竹林の恵み体験にも使われ、地域の方々にも愛されている市民の森です。 鶴ヶ島市及び周辺地域の方々に里山体験会として、子供たちに思いきり遊んでもらうことで、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。 杉下支えあい協議会、NPO法人あそび計画、NPO法人一二三富の会の協力を得ることができた。子供76名、大人63名、スタッフ37名



6月1日 12名+60名



9月7日 12名+238名



11月16日 12名+164名

## 2 タケノコ、流しそうめん、門松イベント（3回）

里山の保全活動を通じ、自然と人との関わりを体験、スローライフ運動のキャンドルナイトに参加などの活動に取り組んでいます。季節に応じた春のタケノコ掘り、夏の流しソーメン、夏のキャンドルナイト、年末の門松製作イベントなどを開催しています。

### ① タケノコ掘り 夢基金

- 4月21日 市民にタケノコ掘りを体験してもらうために、下草刈り。枯れ枝・竹・竹枝等を拾い等竹林の整備を実施した。13名
- 4月27日 五味ヶ谷市民の森 タケノコ掘り体験会は、竹林整備の一環としてタケノコ除去作業に参加してもらおう。初めての体験者も多く、子供のためが、お父さん、おかあさんが夢中となり、家族の参加イベントとなっている。また、採取後に、タケノコを美味しくいただくことで、竹林の役割、自然の恵みを感じてもらい、市民の森に親しんでもらう。



4月22日 13名



4月27日 13名+101名



### ② キャンドルナイト

- 6月22日 つるがしま里山サポートクラブは、2006年にスローライフに賛同し、第一回キャンドルナイトを高倉市民の森で開催したのが始まりで、毎年開催してきた。この活動が 農業・農業交流センター「つるの里のんのん」の行事として開催することとなり、この経緯から、キャンドルナイトに提供する竹筒の制作の支援や模擬店としての出店を行い、市民との交流を実施している。
- 孟宗竹25本程度を伐採し、2台の丸鋸で効率よく作業を実施し、2時間で250本の竹筒を作ることができた。



6月22日 12名+100名

### ③ 流しソーメン

- 7月6日 夏の自然体験の一つとして、流しソーメンを実施している。竹を伐採し、樋・脚・お椀を作り流しそうめんを行う。家族単位の参加により家族の絆を深めてもらう。そうめんを美味しくいただくことで竹林の役割などを体験し市民の森に親しんでもらう。協力団体として杉下地域支えあい協議会、広域おやこ劇場ひき北いるま、NPO法人一二三富の会の参加を得た。



11名+大人80名、子ども89名、幼児（無料）3名

### ④ 門松<sup>1</sup>教室 夢基金

- 12月21日門松教室は、農耕民族である日本の「お正月」は、「年神様」のお祭りでした。
- 新しい年の実りをもたらす「農耕の神」である「年神様」は、年に一度年の初めに降臨して、幸せを授けてくれる神様で、門松は、年神様を迎える目印としての役割だそうです。
- お正月行事の由来を伝えながら、子どもたちといっしょにお正月準備を始めてみる
- 竹の先端部の形状は、斜めに切った「そぎ」と、真横に切った「寸胴（ずんどう）」の2種類
- 協力団体；広域おやこ劇場ひき北いるま、杉下域支え合い協議会



12月21日 11名+114名

<sup>1</sup> 竹の先端部の形状は、斜めに切った「そぎ」と、真横に切った「寸胴（ずんどう）」の2種類

## 4 自然学習

### 1 藤小学校 3年生

藤小3学年の環境学習への支援活動は今年度も実施され（7月、9月中旬の森体験、11月初旬の発表会）であり、教育上の効果は素晴らしいものがあるので他団体も含め参加する。

- 5月31日 藤金市民の森における自然体験として、川遊び、昆虫探し、植物探し、いろいろな花の色探しを実施、プログラムとして、1. 川で、笹舟づくりの指導、2. 市民の森なか植物の解説、3. 昆虫の幼探し、4. 森の不思議に対する質問（樹の葉の違い、木成長は）を実施した。



5月31日 4名+80名

- 6月16日 藤小学校 3年生の自然学習のサポート
- 藤金市民の森における外来種の駆除の取り組みとして、森の樹木に取り巻く、クズを駆除する
- 学校との連絡不足で、里山クラブでの準備不足があり、今後の取り組みに、連絡を密に実施する必要がある。



6月17日 6名+80人

- 7月9日 藤金市民の森・藤小3年生 自然体験学習支援事業は、児童に身近な自然である藤金市民の森に親んでもらい、藤金市民の森を故郷の森として、次世代に残してもらおうきっかけになってほしい。
- 魚釣り、ハンモック、竹細工、昆虫班はシルバー裏の草原でバッタ、トンボ採集。

その他森の中、大谷川で調査活動11：40から昼食をはさんで野外授業ができ、たっぷり市民の森を体験



7月9日 4名+80名

- 9月11日 子供たちが藤金市民の森で体験したことを、クラフト作品に作る。そのための材料集め 竹と枝葉を集めることで、一組40人は、20人ずつに分かれ竹切りチームと枝葉集めチーム、竹切にスタッフ3名、枝葉集めにスタッフ1名指導する
- 二組も同様に実施した。



9月11日 4名+80名

- 11月6日 藤小学校3年生の、本年度4回にわたる自然体験学習の成果の発表会が行われました。沢山の父兄も参加し、子供の成長に目を細めていました。



11月6日 8名+105名

## 2 栄小学校 5年生 特別授業 五味ヶ谷市民の森

- 11年27日:栄小学校より特別授業「森と竹林の学校」の依頼があり、9名+5年生約60名が五味ヶ谷市民の森に来訪し、自然体験授業を行った。五味ヶ谷市民の森を故郷の森として、次世代に残してもらおうきっかけになってほしい



11月7日 9名+60名

## 5 ボランティア体験

### 1 社協主催のボランティア体験会への参加（7月～8月、3回）

つるがしま里山サポートクラブの日常的活動に社協主催のボランティア体験会に参加して、体験希望者を受け入れている。ボランティアとして、里山の保全活動の目的や自然に接することによる自然資源の役割の理解を深めていきたい。

学校適応指導教室の子供たちの自然体験、大学、高校、中学生のボランティア体験

- 6月6日アペルト 高倉市民の森自然体験授業で、ここ毎年続けている学校適応指導教室<アペルト>の高倉市民の森自然体験学習支援を行いました。年1度の野外学習のようで、楽しみにしている生徒もいます。生徒3名担任2名、里山スタッフ4名で、野外体験を通して故郷の森として高倉市民の森を知ってもらう良い機会でした。
- 7月27日 高倉市民の森の清掃活動にボランティア体験を受け入れ大高中生6名参加(再掲)
- 7月29日 松ヶ丘のハッピーテラスより、水鉄砲作り支援依頼があり、「大橋市民センターの愉快的仲間たち」と一緒に流しそうめんと合わせて、ハッピーテラスの児童を楽しませるイベントを実施した
- 8月10日 五味ヶ谷で、キャンドルナイトの準備で発生した残材の処分と林地内の下草刈り。社協のボランティア体験を実施6名の体験者(中2名、高4名)再掲



6月6日(4名+5名)

7月27日(9名+6名)

7月29日(4名+)

8月10日(9名+6名)

## 6 木工活動

木工教室の定期的な開催（2 回程度）

- 1月25日 木工教室と藤金竹林整備として実施。新規購入した木工工具の組み立てと使い方の説明、藤金市民の森の西側の竹林の整備、藤小学校からの記念植樹の提案の協議



1月25日 16名

- 3月22日 会員の皆さんの日常で制作・利活用したい木工製品を制作。
- また、プレーパーク等のイベントで子ども達が作れる木工製品を試作するため、皆さんのアイデア等を持ち寄って試作する。



3月22日 11名+1名

## 7 植樹活動

植樹活動はクラブ発足から主要課題として取り組んできました。クラブの発足を記念して、高倉の広場に山桜を3本植樹したのが始まりです。その後、日本桜の会からの寄贈で飯盛川沿いに30本のソメイヨシノを植樹しました。しかし、高倉の皆様からの反対や批判が多いのか？、その大部分が折られてしまいました。その後、藤金市民の森に山桜を5本、五味ヶ谷にも植樹しています。これらの桜の木は、20年もたった高倉市民の森の山桜、10年前後の藤金市民の森の山桜は、毎年きれいに咲いてくれています。

新たな植樹事業として、2017年から、東村山市で桜の新芽を採取し、2000本の桜を植樹してきた経験者（橋本一郎氏）の指導を受けて、桜新芽の採取・剪定・鉢植え作業を実施しています。本年度は、小彼岸桜育苗作業は5月の若葉採取と2月の根巻き、3月の畑移植の2回実施した

- 5月17日 今年で3年目となる小彼岸桜の新芽を市役所の了解のうえ、運動公園北側道路の子彼岸桜並木より採取した。



5月17日 5名

- 2月16日 桜苗根巻。五味ヶ谷森伐採整備  
小彼岸桜 1000 本植樹作戦の一環として桜苗木の根巻作業を行う。・前回、五味ヶ谷森で処理できなかった掛り木を処理し森の安全を確保した。



2月16日 10名

- 3月28日 小彼岸桜の定植、会員間で1年間育苗してきた小彼岸桜苗のうち、花や葉が出てきた苗を更に畑で1年間育て、3年目の若木として来年、市民や市等に配布できるよう畑への定植作業を実施した。定植できた苗数は117本である。



3月28日 7名

## 8 里山の保全活動の普及活動

他団体応援・協力は坂戸「一二三富の会」へ2回実施（理事数名で対応）

- 12月22日 坂戸門松教室
- 坂戸「一二三富の会」の門松教室の支援活動で参加。



4名+80名

- 2月8日 里山サポートもろやま 設立総会へ出席、  
里山の維持活動においては、機材については、当面、つるがしま里山クラブの機材  
をできる限り提供することで、活動を支援することとしました。
- 里山の保全活動が近隣市町  
に広がっていくことは、大  
変喜ばしいことで、その立  
ち上げや 活動について、支  
援していきたいと考えます。



2月8日 2名

## 9 その他の活動

### 1 市・市民活動団体のイベント参加

市役所主催の第2回水かけ祭りへの参加（流しソーメン）（8月25日）

つるがしま環境まつりへの参加

4月13日 結桜まつりでは、バンブーパン、豚汁を出店し、竹細工も希望があればと準備する。桜満開の中で、地域市民や地区団体と親睦を深めるために参加し、里山の活動を紹介する。 終了後に総会を開催した。 18名



1

## 2 市内の23ヶ所(内2ヶ所喪失)の気温観測 2017から継続中

市民情報連絡会が市内の気温を測定することにより、①市内の気温の分布、②樹林地、公園、池などのクールスポットの気温、③気温分布図によるまちづくりの基礎資料、④気温を通じた環境を考える機会としたい等の目的で、2014年、2015年の2カ年に市民に呼びかけ、市民活動団体44団体の市民約100名の参加により実施されました。

その後の継続に、里山クラブが引き継ぎ、2017年から継承し、県の助成を受けて、市内に23ヶ所の記録式観測器を配置し、30分間隔で気温と湿度の観測を継続しています。

結果、市民の森と市街地の気温を比較すると、森内は平均気温で3℃～5℃低いこと、市内の最高最低温度は、夏に+43℃を超え、2月②は-12℃となることがわかりました。年度別には、最高・最低温度の高低差が拡大していることが把握されています。

## 3 逆木倉庫およびシルバー倉庫の清掃・整備を年2回実施

- 9月28日 逆木倉庫整備は今回、年1回の定期整備として逆木倉庫の清掃・整備を実施したが、来年2月16日にシルバー資材置き場を整備  
倉庫内にラベルを添付し、各種資材の保管場所を明確にする。 9名



## 4 会員の親睦

会員の親睦には、毎回の活動に際し、会員の交流を高めることに留意しながら、活動していますが、時には、清掃活動を抜いて、会員同士のコミュニケーションをするため、「みんなのバーベキュー」を開催しました。

ときがわ町川の広場バーベキュー場にて、8名の参加でした。

<活動写真>

